

著作権の関係上、Web上への写真の掲載はできません。

冬きオリンピック長野大会でレースをする ひろやす (写真：ロイター/アフロ)

で 活やくしました。

ひろやすが、はじめて スケートぐつをはいたのは三才のときでした。二番目のお姉さんが お父さんと こおりの上を するようすを 見て いっしょに すべりたくなつたのでしよう。ひろやすは、だれにも 教えてもらわずに こおりの上に 立って あそぶように なりました。

「ひろやすは すごいなあ。スケートに む

しみず ひろやす

ひろやすは、小さいころから たくさんの スケート大会で ゆうしゅうしてきました。オリンピックに 出場し 金メダルをとるなど 日本を だいひょうする スケートせん手として せかい

いているね。」

と、お姉さんに 言われて うれしくなつたひろやすは、お父さんと いっしょに スケートの れんしゅうに ちゅう中になりました。ひろやすは、体の 小さい 子どもでした。そのため、ひろやすが お父さんと いっしょに スケートの れんしゅうを している と まわりの 人たちから、

「あんなに 小さくて スケートを やるのは 無理だよ。」

と言われることが ありました。

それでも ひろやすと お父さんは「体が やわらかければ 体の 大きい 子にも まけない。」と 考えました。れんしゅうの ときには ストレッチを くりかえして 体を やわらかく していききました。また 体を 少しでも 大きくするために すききらいせず 何でも 食べるように しました。ひろやすは、友だちと あそびたい ときにも 時間を きめて あそびました。そし

て れんしゅうの 時間に おくれることは
一ども ありませんでした。体の 大きな子
に まけないように、海で すなはまを は
だしで 走ったり、足の ゆび先で タオル
を つかんだりする れんしゅうも しまし
た。夏には 自てん車に のって 体をきた
えつづけました。

毎日の ように れんしゅうを したので
ひろやすは、スケートの 大会で よいせい
せきを のこすように なりました。

ひろやすは、高校生に なったとき、スケ
ートの先生から、

「教えることが ほとんどない。」

と言われるほど スケートが 上たつしてい
ました。そのころ ひろやすは、北海道で
スケートせん手として 多くの 人に 知ら
れるように なっていました。そして ひろ
やすは、二十三才のときに 日本だいひょうに
えらばれ 冬きオリンピック 長野大会に 出
場しました。いよいよ ひろやすの レース

が はじまりました。スタ
ートと 同時に ひろやす
の ロケットスタートが
きまりました。せかいの
どのせん手よりも はやく
矢のよう な スピードで
すべりました。

ひろやすは、大会の
一番の タイムで ゴールしました。会場に
いた 人たちが いっせいに はく手をお
くりました。ひろやすは、りょう手で 高らか
に ガッツポーズを しました。

体の 小さな ひろやすが、自分の とく
な スケートで ど力しつづけ、体の 大き
な せかいの せん手たちに 勝ち、金メダ
ルを かくとくしたことは 日本中の 人た
ちに ゆう気を あたえました。

◎ なぜ、ひろやすは きびしいれんしゅうをつづけられたので
しょうか。

◆ あなたの よきは どんなどころですか。

著作権の関係上、Web上への写真の
掲載はできません。

冬きオリンピック長野大会で1位になりガッツポ
ーズをする ひろやす (写真: 読売新聞/アフロ)